

鹿児島大学病院

研修医 鮫島 光平 2015年9月

鹿児島大学病院初期研修医2年次の鮫島光平と申します。平成27年9月の1ヶ月間地域医療研修として出水総合医療センターでお世話になりました。出水に来る直前の8月25日未明に台風15号が鹿児島県を襲い、市街地や山道では木々が根こそぎ倒れていたり、瓦が飛んでいたりとその甚大な被害の一端を垣間見ることとなりました。被害に遭われた方々へ心よりお見舞い申し上げます。

さて、私は今回の研修を行うまでずっと鹿児島市内で過ごしてきましたので、今年の5月に「出水肉まつり」でお邪魔するまでなかなか出水まで足を伸ばす機会がなく、馴染みのない土地でうまくやっていけるかという不安を抱えながら第一週は野田診療所で研修を行いました。野田診療所ではCTをはじめ多くの検査ができるということに驚きました。腹痛の患者さんに対して必要とあればその場で前処置を開始し数時間後には下部消化管内視鏡検査を施行しましたし、研修中は内村先生より心臓や腹部・頸部超音波検査も忙しい診察の合間を縫って丁寧に教えていただきました。その他外来への陪席や、各家庭やグループホームへの訪問診療を体験しました。第一週の土曜日には出水市民大学が催され、ちょうど出水総合医療センターの先生方が講演されるとのことで聴講いたしました。いずれの先生方も市民の皆さんに各々の分野の疾患を啓蒙するために、解剖生理から気をつけるべき徴候、予防法に至るまで平易な言葉で説明されており地域のヘルスケアマネジメントの一つの形を体験しました。2週目は高尾野診療所での研修でした。外来診療はこれまで救急で数えるだけしか行ってきませんでしたが、西元寺先生の指導のもと生活習慣病に対する指導からマムシ・ムカデ咬傷に至るまで多くの症例を経験することとなりました。限られた時間の中で必要なことを聞き適切に対応するという外来診療の基本を僅かながらですが学べたと思います。高尾野診療所での研修の一環として特別養護老人ホーム鶴寿会たかおへの往診にも同行し、地域における介護施設の重要性についても説明いただきました。また、出水保健センターでは母子保健に対する行政の取り組みを学びました。上場診療所への出張診療にも2度同行し主に僻地でのフォローアップ外来を体験しました。危急な症例はありませんでしたが、生活に根付いた、雑談とともれる問診の中から患者さんが抱える心配事や問題点を聞き出すという救急外来とは異なる対応も勉強になりました。

3週目以降は出水総合医療センターの総合内科で研修を行いました。主に午前中は初診の患者さんの外来を担当し、救急要請があった時は救急部で各科の先生方とともに診療に当たりました。救急外来にはそれ以外にも2回院内オンコールという形で初期診療にあたる機会をいただき、野田診療所での1次救急対応も経験しましたが、いずれの場面でも自身の勉強不足を痛感し、今後さらなる研鑽を積む必要性を感じました。

最後になりましたがご多忙の中ご指導賜りました先生方、コメディカルの方々、職員の方々、関係各位のすべての方々に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。